性教育講演会受講報告書

１．日　時　　令和５年７月１４日(金)１１時～１２時
２．場　所　　生徒用会議室
３．参加者　　保健委員５名
４．演　題　　「成長と性徴～大切な未来のために～」
５．講　師　　倉敷成人病センター　看護部　参与　岸本　長代先生
６．講演会内容

演題の「成長と性徴」から将来のことを考える、また命を大切さについてお話がありました。

10 人に 1～2 人が流産をすることから、無事に赤ちゃんが生まれてくることは奇跡であり、赤ちゃんは幸せになるために生まれてくる。

第 2 次性徴＝生殖能力を持つということ。性的接触により、妊娠する可能性があります。男子は性的欲求のコントロールが必要となり、女子には断る勇気が必要。

年間 15 万の人工妊娠中絶が行われている。人工妊娠中絶は精神的にも身体的にも傷つく行為。予期せぬ妊娠とならないよう、自分の心と身体を守れる大人になってほしい。

他人を大切にすることは自分を大切にすることにつながるので、他人を思いやり大切にすることが大事。など命の大切さについて話されました。

他には、ワークライフバランスについて、共働きが多い現代、女子はできる女になる必要はなく、子育て、家事を二人で考えていけるようになると良い。とのお話もありました。

７．感　想

講演の中でも先生が、性については誰も教えてくれなし、誰かに相談しづらいと言われていた通り、大切なことと分かっていてもなかなか家庭で話題にしづらい内容だと思います。その中で、学校で定期的にこうした講演会を開催していただけることを有難く思います。家庭でもまずは、生まれてきてくれたことの感謝や命の大切さから話題に、子どもとの話し合いが持てればと思います。